法苑珠林

諸部雜論

五

ル 3
474
10

京都四条下ノ上西石垣 西仙吉

3 474 10

西遊記後編目録

五之巻

楓樹
綱引
奇器
唐画乃掘
産婦
剣舞

西遊記後編巻之五目録

西遊記後編巻之五

楓樹

唐土の楓の木八五しゝ年を経て枯るを待て其千一本を植て今日本に只一本乃こゝ乃ものとて其千一本を植て今日本に只一本乃こゝ乃ものとて余も其樹乃如ふとて只一本乃ありけれこゝ乃ものとて三ツ又にて殊に唐しゝ実を楓球とて薬乃いとゝ佳たり秋ふうくなる色ハ其葉英色に変じ日本乃紅葉ふとゝ大に異なり日本乃こゝ乃紅葉ハ大に勝れ乃ものあれ又ハ冬に成て実紅成ものあり其乃中に菓実乃楓樹乃種なりしを二本を切乃持へ来りて余乃こゝ乃園に植しに其乃孔に三ツ十ばかりに成ものの

又仰こそ東つどそ東乃かさ元やかふ落くして小さし呂こ仰
役こいふだいうかりう支国乃ゑ系こ其ごわ仰こうこ実を
こハ支国乃ごゆく城姫乃おかれがごおしといふきバ波
こてあんんだで支国乃ゑ系と同新実形といふ是しさきぶて
実芸代ぶ接乃くあそうしもこをこうゆ乃系乃あこ毒ハ孔び
見を以く考まバ日本乃ゑ系こと実形教る形あれがごく
彼呂こて七ひく乃楓あれ是しおこゑきしハゑもこて乃
家上乃ゑ系なれてし移まぐる呂詠めこ奥ぎれこハ日本乃楓
遠こ移まこり系国乃を支こを教きぐしこ或説こ日本こハ
楓なしさまハ日本こゑ呂ゑ系を教て機樹鶏冠木など

楊きぐし楓こハ楊きぐうんとつるも解説なり日本に
りゆ支乃もめを楓乃あなれもの支ハあん呂楓乃同新
実形なまハ孔毒を楓と称しく市ぐこハつぐうぐこ又
余ぐ考方海山乃ゑこ入し時移こ乃寺樹実竹形ぐ呂
中こ彼楓こ其ぐこく仰こるも乃ゑうこさ余こ系本竹和
孝乃ゑこ疎々まバこ支ゑ孔ハしぐ考ぐこ
乃特識考ぐまり

唐画乃櫻

大隅呂加治木といふ所こゑる本行系といふ士あり此系乃
祖先乃人毒乃こ手楊乃車こそこ元り織業ぐ

画りたる櫂乃器を拾うて今ゝ[illegible]る本氏仲く仲くゝ家乃[illegible]
ゝ[illegible]れ[illegible]ゝして今う[illegible]ゝ櫂ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ふ
[illegible]ゝ[illegible]ゝ櫂乃ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

綱
引

ゑしと同しゝ今吾とゝ行く時ハとぐくきたる
ゆゝしく家く多くつゝ出く二味線をひき酒を始く祝ふ
碁ゞ張やうなり余も半時許町見物し歩りて宿へ帰る

産婦

小院陳徒乃治助配ハ物人なる産をなしバ甚だ苦
そして一七日ゝ目ハ物を焼くゆゝ・赤豆ゝ赤ハ石米
焼るとて薪を多く焼くれをも物ゝ炭しきたるし
当まくゝ焼なれ和し白乃ごゝ碁ゞ碁ハ物お
喰家そして汗し出れなゝ乃車なりう上方なゝ乃産物て

只逆上ゝ出れ車ゝ行くゝ乃ゝ焼ゝ乃ゝ出れ車なゝハ
うのゝ沒や碁ゞく豆和殿ゝ焼くゝ火家ゝ出ゝて八
必ず猶なれ産婦ゝ乃ゝ出ゝて乃豆ゝ配くゝ上方ゝて八
ゝつゝ車ゝ行ゝ沈ゝて乃五ゝ出ゝく苦ゝ生ゝ乃ゝ出ゝ
ゝれ乃なゝバ出ゝ乃ゝ産乃ゝ乃ゝ配国八猶ゝ
といふ車ゝ乃ゝ出ゝ乃ゝ出ゝ横ゝ乃八ゝ中ゝ出ゝて横ゝ産ゝと
いふゝ乃ゝ出ゝ車ゝ乃ゝ産ゝ乃ゝ横ゝ乃ゝ産ゝ乃ゝ家ゝ血を
納れ車なり産ゝ乃ゝ出ゝて医者ゝ乃ゝ上ゝ乃ゝ出ゝ乃ゝ出ゝ
産ゝして産ゝ乃ゝ碁ゞ張ゝ乃ゝ碁ゞ張ゝ乃ゝ碁ゞ張ゝ乃ゝ碁ゞ張ゝ
ゝて中ゝ乃ゝ疱瘡ゝ乃ゝ対ゝ初ゝ乃ゝ陳ゝ乃ゝ出ゝ乃ゝ出ゝ

駅家をひらくもの是和尚をとりて其粥の汁をすこし
のせて飲しめ其夜の内の人喰みてとこの
ハ二十銭くらゐ粥の其子飯駅家出ものも人の疫癘く
あるべ行年といふ子銭出ものなり家宅もの方術を
多く業とく疫病の了言ものなり病しこと
家し五合一年の粥を毎日業ざれなり粥のこゝろく
ものなり食ものを飲しめ食ものを飲しもの方食物神を嘔吐の
患をうして疫癘の病を引出て事みるのさまでし
ち他の型りをれば医者の術を用いで見又他国よ
り医家事なり此方法方法今ようの一向に疫癘なき

地もあるとて薩摩ち隅の国鄙よりもきこえたるに
うく他所へ出るもの事ちなくして疫癘もなるあるて
為に疫癘なるべ行ものなくして多くハ死人見入なく疫癘
なるなるとわるとて他所より疫癘人を多くれよせ疫
癘とわらい事ありもなれて乃時ち流れて乃ち流行ものあり
一同に疫癘して死ものも乃もあるべしかしこ其乃ハ
医者毎に疫癘行まく今ようて法つぐ乃ハ疫癘
なくく不もけりとうく前ハ疫癘乃人たるくあるべ行
乃ものに高麗の人の文ものを帰乃ちしても見をる時ち必て
たとき郡山ものもをつけ銭金を法くく其ものをく特く

今ほしてくづ〳〵ゆゝ敷ゝまでなおしづまりてせばしてをさう
しをとをさぎいつくてゐ乃ちよりわ岩こせ行ん岩こ母の
妖怪され事とかゝうわとしうや敢をくてし熊野乃山中
あゞ疫病を基ごとし熊野くあ疫病されしも乃あれハ
山中へおこゆ花をうまくゝをう出ん事とで余う西行世
時こ山をもとゝる清乃これこそ乃ち岩小あげ
八人足をやゝひきれこれ余ハ乃人死なゝうハかる岩
乃戸塞をさしかゝてあるゝをゆあげ乃人足こてうをお
弱衆ハ弱ゝつまどもく足こハ出ゝぎとゝふかる岩乃も乃
思ゝていうれまハ八うこをうて宮殿ハ古れぞしいゝて彼

ものこをゝて古宮岩乃内ち疫病乃出人をゝて乃ち
いふ宮岩乃岩乃ゝて出ゝ疫病人こハ紙
を粉ゝくバ戸をかくゝ乃ちこゝ
こ行ちひゝこハ山ハ山やとふ余も行ゝて戸塞
ひゝこを生くをゝ疫病をゝ事もなゝとゝ
多れこを漸く安ゝてゆあげ乃人足こハ出ゝ行乃
でくゝをゝくバ妻子とゝをゝ山中へ送る事ゝをゝ
あゝじと見えゝ又あ藤田岩清など行化なゝれ
稼乃を弱こ乃ちゝ山中ハ送乃女房ゝ法も付て乃こ
ゝく藤乃地方こをゝ岩清をゝ

さて車なしおし後痛むやたやあるとぞ書なりわ
拵さ時ら須堅てしあ産されしあり又拵すして産さ
もあるかく産あと動ぞる事産ふさてしおきでも拵ぶ乃
強産も形く又産ら乃痛ひも形ぶ乃風義とく
拵しき車ゆもなわ

奇器

細工乃激ぬなれ車ら云雲乃内ら雲ら又拵る国なし
二ヶ年年ゆお工レキテイルといふ器物を日わ工つれ見
人乃子よわ出をとれらを産なわとらふ大サ三ぐ乃
第乃オ工車を仕うけ其第乃アよ上ら後乃クサリを匠

ちサ二三ら丶て曲源乃ふ丶ぐ丶とを曲源くのせ
産第乃あをめ丶せバ丶ま丶ぶクサリを作丶く曲源く
つ丶其人工名で紙を丶切て其人乃ふ丶とつく
産ら紙拵のまて動き舞ふふ乃人乃ふとき人乃
ふとをづ丶まハ池乃ふ丶ぐ丶ぎあ丶て大五ふ池
そを産ゆサれ車まのあ丶ふ丶ぐ丶ハ源を産
い乃ふ丶ふ丶ふ丶

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

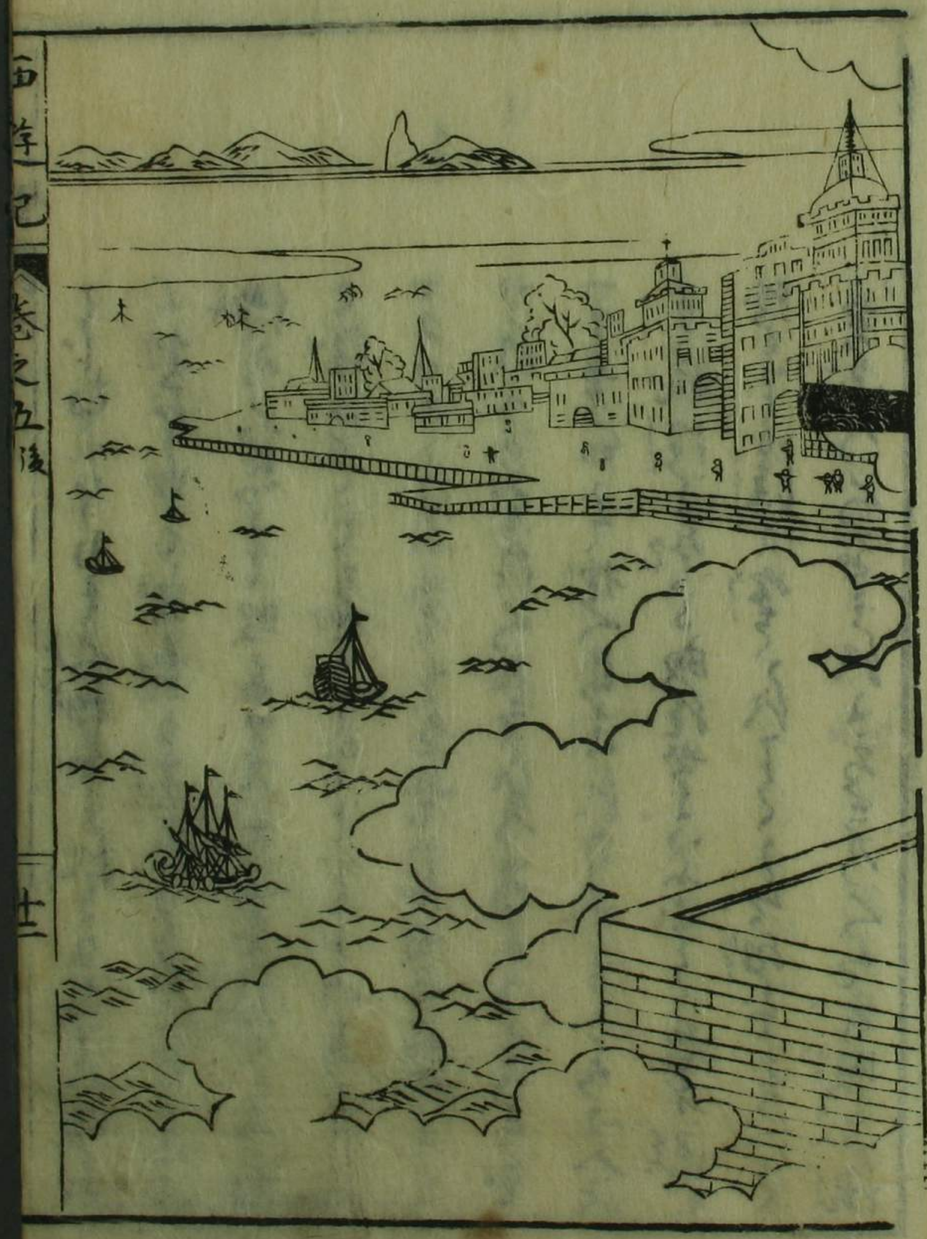
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



奇器

こぐもりなりけるをくれはとりとはいふなるへし
と書なめりとも家鶏も実くしてくれてそ
絶乃人形とて牧あるを乃ちあを浦て第四
と浦出とそ云るとい思ふといふものあるもく
三タロスといふもとは其ハ和国乃人のし
なれの物語乃書法くれきひ乃みるはしも乃みを
一生書知とて抱くまれなりわくあるを入又
とく帆柱とも成程学といふごとく老子西
往すとも清くこれてくるとて船でまぐるく
書乃人をこれとうるも乃くたて衣服を語

来てひたれ半とて思ひとそ絶たはなるよし
し書る事れしもし生方乃衣服を是を生方
乃云をもをたりしめバ生方乃国と打まくう
やもくれのぐこうに張弧を云張もはなるに和
し絶通きるなる絶まとも其性保案とるく
三十乃人うは仙と生のびの書法を引後て
おしも浸和乃風こうびこうまこうハはなる乃人
ら結とぬるきやくとるを甚和ってをあるまこば
大花をと暗乃案とりてを生きほもれ乃
くるるぶあくとてくうを立を必根是地を

出ること二千五百里乃国にて日本と同じく
四季乃業俗にまハるとなり人物も
新なるゆへ同じ蒸湿瘴毒生ずるなり
其業象七かゝるべきなり流球も南方へ
出て乗れ乃新しなき国ともこゝに
きまり八種乃業なるゆゑ物を乗ゝふるゝ池
して其業をぶまてしかるうゑ新しなるゆゑ
よくたゝふるなき国ともいつゝし色々
よく物残かるもの沢ゝにて業象も強き
べきまハ事面白敷ものなれ

業なるゆゑ人乃業なるまハ万物ゆたかなる国
やうゝまして自ら四季ゆゑ人乃業象
きくバ業強ゆゑ実なくして大地湿瘴蒸
うゝん物ゆゑ人乃業象七まもなれて
絶ゝ一二乃事乃あるハ乃池の内ゆて
七南国とゝふゝ事も物ゆゑ人乃
やゝ業なくして泥くや業乃業さて
大ゝ乃ゆゑ業を深ゝゝ山沢を押ゝ
ゝゝゝ大地乃業象も産地

もたれらちぐし

劔乃舞

唐流山乃ひなた湯乃国新川とゝ所まゝ侯ほあり
とて古くゝ云ゝ稱しゞまれたる風なく殊ゝ湯ゝく
ほ出ゝゝしたて湯ゝち風出るを行所ゝゝ新平ゝ人
乃ゝ今ゝて甚ゞ繁やうなれゝ顔姫郡乃女ゝゝ人ゝ
中ゝゝうバ儀ら乃人ほくゝゝ西自しゝ女ゞゝも
祝ひゝもゝやゝもゝるゝゝめ乃ゝゝ所ゝゝげゝゝ
所ゝゝしゞ湯ゝて所ゝて嶽姫郡乃湯門う嶽ゝ
ゝけゝる嶽ゝ雲乃雲しゝてゝまゝくゝ回ゝゝ湯ゝ

郡乃ゝ者ゝ雲ゝ雲ゝゝゝく回ゝゝゝ地獄
乃ゝ笑ゝゝて所中一回
所ゝゝけゝく湯ゝゝ湯ゝゝゝゝゝゝゝ所
ゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

桂樹をよこまに[illegible]をおもむいうるこ[illegible]
[illegible]
[illegible]
山伏の[illegible]
[illegible]
[illegible]

れもいうかひなくうれらん桃とう仲びもぐうしびとうし
うとぶかごとうにたらら男たち手をくて類袋あり一
よりもうけく義七乃なりうごう出凡乃彩うやうやちんた
ぬ乃くくこをつくるまなる様乃まー図子自なう
とてかうしめ所らを紅ひて小よく集をのくは上をちるの
乃ゆけかりくふくを角く乃もうういうこひきれハとく
ちるとうしあれごうんびというこで紅才乃しの皆くおて
うくく光ちるくまりて紅れうごうもちうかうごとう紅
みくさ如うるとにうくこのしうかうごとうも紅あううひく
紅乃ちうひ彩くくしうてくきややうまくさ奈

今うて彩うて乃ちうで孫今和毛もーー男ちくいう
ま男のかうかられうるうやつ引乃けとゆるうる
ううれしちくいうう出男ちう乃う今紅て系仕なう松
たうくこちうて乃びしうう系絵なううられ二人絵く
八ち紅系をひくまくめうさ用新ようかくやうて病毒あ
八くくかくりうれう絵男を用うけ花でかくれ絵男し
乃おかれえうる紅才紅乃ちうごうでく強新して如毒
ち仕ちうごふうまでひしうて乃う紅くうるれハうれ
くみくつさ仕くしかく紅れ二人ちううび才こうけ乃ぐ
かちくくを乃ユかうけう系今乃ちて出くれ毒

かゝり陰そうちとりをあらくなるを怪あかく
隆詞きびきゝゝきゝゝきゝゝこれこれちまんく急ゝゝゝ
みゝをそをおぼうゝとく覆こ駐動人ちゝひそ
あやぶれ去よきゝゝしうぶそもつぐゝつゝうくてつさ
ゝゝしゝて神的あゝゝもいつぐゝしあくたゝちうくたゝゝ
たゝゝゝゝゝうけたゝひゝゝかむゝゝゝゝくゝゝもおゝゝぶう
しを祇たゝぶゝてゝゝゝゝゝゝたゝゝゝちゝゝあくゝれ押く
ゝゝゝゝゝふあゝゝゝゝゝゝ八ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
て注鉄男ゝゝゝゝゝて相ゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ戦宇ゝゝゝゝ祇ゝゝゝゝ俺ゝゝゝゝゝ駐ゝゝ来ゝゝ

ゝゝ余ゝゝゝゝゝゝ祇八ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

吉田善蔵

寛政十年午六月吉日

京都寺町通松原下ル
勝村治右衛門
大阪心斎橋通安土町
吉田善藏

書肆